1　国語

学校番号	T2101

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合ｂ	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	「新編　国語総合　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文・漢文を中心とした古典を学習します。
・和歌や故事成語の学習もします。
・平安時代の暮らしや恋愛などの生活の様子も学びます。
・文法の学習よりも、古典作品の世界に触れることを重視します。
・声を出して音読をすることも大切にします。

2　学習の到達目標

・簡単な古文を読み、文語表現に親しむ。
・漢文の訓読法を学び、書き下し文にできる。
・和歌を鑑賞し、日本の美意識に触れる。
・日常でよく使う故事成語の意味と、もととなった逸話を理解する。
・平安時代の暮らしをイメージできる。
・古文や漢文を音読できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に参加している。 わからないことは質問し、発問に対して答える。 課題をきちんとこなす。			古典の主旨を適切に読み取る。 古典の書かれた背景も理解する。 歴史的仮名遣いを適当な発音で音読できる。	古語の意味を理解する。 漢文を書き下し文にすることができる。 文学史の流れをおさえる。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （配布プリント・課題）			記述の確認（配布プリント・課題） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （配布プリント・課題） 定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
古文　前期　後期も同じ内容)	古文に親しむ	ねずみの婿とり	○			○	◎	a:教材の内容に興味を持っている。 d：正確に口語訳ができる。 e：敬語や台詞などの古語の意味を理解している。	a:発問 d:プリント・定期考査 e:音読・定期考査
		阿蘇の史、盗人にあひてのがるること				◎	○	d：当時の状況を読み取ることができる。 e：基本的な古典文法を理解している。	d:プリント・定期考査 e:発問・定期考査
		児のそら寝				○	◎	d:登場人物の行動を読み取ることができる。 e:作品内で描写される心情の移り変わりを理解している。	d:プリント・定期考査 e:発問・定期考査
	随筆の楽しみ	枕草子	○			◎	○	a:枕草子に則して自らの経験を振り返られる。 d:自由に口語訳を行うことができる。正確に音読できる。 e:文学史における枕草子の位置付けを理解している。	a:発問 d:プリント・音読 e:発問・プリント
		徒然草	○			◎	○	a:興味がある章段を見つけられる。 d:適切に音読することができる。単に訳すだけでなく、文章の真意を読み取ることができる。 e：文学史における徒然草の位置付けを理解している。	a:発問 d:プリント・定期考査 e:発問・プリント
	物語の世界	伊勢物語	○			○	◎	a:登場人物の心情に共感できる。 d：和歌が詠まれるまでの流れを読み取れる。 e:歌物語の概念と和歌の技法を理解している。	a:発問 d:プリント・定期考査 e:定期考査

漢文　前期　後期も同じ内容）	漢文のとびら	訓読のきまり	○				◎	a:漢文の重要性を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 e:送り仮名と返り点のきまりを理解している。	a:発問 e:プリント・定期考査
		訓読に親しむ				◎	○	d:書き下し文を正確に読み、現代における意味まで読み取ることができる。 e: 正確に白文を書き下し文にできる。置き字と再読文字を理解している。	d:プリント・定期考査 e:プリント・定期考査
	故事と史話	故事				○	◎	d:長文を読解し、起承転結に要約できる。 e:単なる意味にとどまらず、創作された歴史的背景を理解している。	d:プリント・定期考査 e:発問
	唐詩のしらべ	春眠暁を覚えず	○			◎	○	a: 自由な言葉遣いでの口語訳に挑戦できる。 d:漢詩を読解し、風景や心情を読み取ることができる。 e: 現代における漢字の用法や歌と比較し、違いを理解している。	a:発問 d:プリント・定期考査 e:定期考査
		自然のうた～憂愁のうた				○	◎	d:全体の雰囲気や漢詩の背景を読み取ることができる。 e:漢詩の形式と押韻を理解している。	d:プリント e:プリント・定期考査
	孔子のことば	論語、学問のすすめ	○			○	◎	a:孔子の考え方について自らの意見が言える。 d:正確に訓読している。 e:文学史及び現代における論語の重要性を理解している。	a:発問 d:プリント・定期考査 e:発問・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。